

# 器楽

楽器や奏法の説明と実際に演奏する曲の楽譜を見開きページで掲載し、常に確認しながら演奏できるような紙面構成にしました。また、ボディ・パーカッション、チャイムなどグループ活動によって協働しながら学習を進めることができる教材や、さまざまな楽器編成によるアンサンブル教材など、バラエティー豊かな曲を取りそろえました。

## リコーダー

各学校や生徒の実態を考慮し、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や、アルトの二重奏でもソプラノとアルトによる二重奏でも演奏が可能な曲などを収録しました。

運指表と基礎的な奏法の説明を、見開きで見やすく示しています。

リコーダーの運指表

●タンギング  
舌の先で音を出し、舌の裏で音を止めます。舌の裏で音を止める時は、舌の先で音を出したまま、舌の裏で音を止めます。

●左手の握りかた  
左手の親指(1)の指先をリコーダーのキーを押すように握ります。この握りかたは、指先がキーを押すように握ります。指先がキーを押すように握ります。

●アーティキュレーション  
一つの音の終わりに、次の音の音程を準備するまで、舌の裏で音を止めます。このように、一つの音の終わりに、次の音の音程を準備するまで、舌の裏で音を止めます。

●ボレロ  
Moderato  
ソプラノ/アルト用

●Ca-f-f-e  
カル・フォルテ・ソプラノ/アルト用

(P.34-35)

リコーダーとギターによるアンサンブルも楽しめます。

ザナルカンドにて  
Zanale Kando ni te  
ソプラノ/アルト用

(P.36)

## 和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな選択ができるように、太鼓、篠笛、三線、三味線、箏の5種類の和楽器を取り上げました。楽器や奏法の説明と演奏する曲をそれぞれ見開きに収めています。

太鼓  
篠笛  
三線  
三味線

(P.74)

(P.76)

演奏する際に楽譜が安定するよう、和楽器は真ん中辺りのページ(P.70~79)にまとめています。

《さくら》変奏曲  
Sakura  
ソプラノ/アルト用

初段(真ん中)の楽譜

●初段で使われる奏法  
①拍子: 4拍子。最初の拍は、その後の拍から10〜15cmくらい、左手の親指、人差し指、中指のまじり後と中指だけ下げる拍の音で演奏する。その後の拍は、その後の拍から10〜12cmくらい、左手の親指、人差し指、中指のまじり後と中指だけ下げる拍の音で演奏する。

(P.78-79)

演奏の便宜を図った縦書き譜

## ギター

「基礎編」「アルペジオ編」「ストローク編」に加え、メロディーと伴奏(和音と低音)に分かれてアンサンブルを楽しむことができる「アンサンブル編」を新たに収録しました。各ステップにおいて、楽器や奏法の説明と演奏する曲をそれぞれ見開きに収めています。

Let's play the GUITAR  
Let's play the GUITAR  
Let's play the GUITAR

第三の男のテーマ  
The Third Man's Theme  
ソプラノ/アルト用

(P.40-41/44-45/46-47)

掲載曲の一部を取り出してポイントを明示

写真を使って奏法を丁寧に解説

## その他

ボディ・パーカッションやチャイムのアンサンブルでは、演奏する際の注意点や工夫例などを示し、グループで楽しみながら表現を深められるようにしました。

Plymouth Rock  
ボディー・パーカッションをしよう  
星に願いを  
チャイムでアンサンブルをしよう

(P.10-11)

(P.26-27)